



細川 幸男 議員 (無会派) 一括質問方式

答……… 小学校外国語の指導力について、平成32年度小学校完全実施の新学習指導要領改訂において、小学校3、4年

生に外国語活動が導入され、5、6年生には教科としての外国語が導入される。平成30年度新学習指導要領の先行実施が始まるのを前に、文部科学省では中央研修を受け推進リーダーを中心に、地域や学校内全教員に研修する計画を進めている。また、今年度より岩手県の教員採用試験の小学校教員の試験内容に英語のリスニングや

# 小学校外国語活動及び教科化の取り組みを尋ねる

問………

外国語教育は経験の無い教員や、英語に自信の無い教員もいると聞くが、教育委員会の取り組みを伺う。

答………

生に外国語活動が導入され、5、6年生には教科としての外国語が導入される。平成30年度新学習指導要領の先行実施が始まるのを前に、文部科学省では中央研修を受け推進リーダーを中心に、地域や学校内全教員に研修する計画を進めている。また、今年度より岩手県の教員採用試験の小学校教員の試験内容に英語のリスニングや

問………

小学校英語の教科化による効果により、学習のスタートが小学校3年生からになり、また、学習時間も現在の3倍になる。その効果をどのように捉えているか。

問題が出題され、採用の改善も進んでいる。

答………

グローバル化する社会の中で、言葉や文化が異なる人々と主体的

に行動していくことが出来るよう、外国語で躊躇せず意見を述べ、世界の人々と親善会話が出来る国際語の習得を目指す、特に英語のコミュニケーション能力の向上が喫緊の課題。英語学習のスタートを早め、発達段階を考慮し、小学校では英語



写真の提供：遠野市教育文化振興財団

の発音に慣れ親しみながら、英語の素地を育むこと。また、穏やかに文字に触れ「読むこと」や「書くこと」を経験することはとても重要であり、そのことでより一層中学校では、いろいろな体験や学習を通じて、遠野への理解を深めるとともに、コミュニケーション能力の向上がさらに進み、本市が目指す「ふるさと遠野や日本、世界の発展に貢献する人材の育成」価値観や言葉の違う人々とも理解し合えるコミュニケーション能力を身につけた人間を育み、遠野の未来の発展に繋がるものとする。

史的背景を踏まえ、宮守町民の自主的活動がより活性化されることを期待するものである。

## 市役所西館の改修

問 1階の改修内容は、

元気わらすつこルーム(就学前児童と保護者が遊べるスペース)を拡充し、より多くの親子が利用できるようにする。

問 防災対策やバリアフリーと合わせ、熱中症対策として冷水器を導入する等、安心安全でわらすつこに優しい

施設改修とすべきでは。

西館を利用する各団体、利用者の意見を伺いながら、利用者に喜ばれる施設となるよう可能な限り対応したい。

## あすもあ遠野の改修

遠野商工会事務室を2階に移転する計画であるが、今後の1階の活用は。

企業紹介・雇用情報発信の発信スペースや休憩できる場所も確保し、人が集える場所として活用したい。

市民の声を取り入れるべきでは。

計画案を中心市街地活性化協議会に示し、意見をとり入れたい。

県立遠野病院の体制は

議会に寄せられた



県立遠野病院の体制強化に期待

声の中に、医師が少なくなると不安を訴えている声があるが把握しているか。

遠野病院と情報交換を行った中では、少なくとも話もなく、外部からも情報が入ってきていないこと、現体制で継続していただけると認識している。

市民の声を現場に届けながら、より良い病院を目指し充実を図ってほしいが。

地理的有利性もあるため、その点を積極的に情報発信しながら、近隣の病院と連携を強めていきたい。

人工透析治療の

増額の要因とな

六次産業化・業務委託料増の内容は

た業務の委託先は。

者を対象に商品開発の研修会を行う。また、海外販売戦略として米国を対象に販売の状況調査を行う。

お詫びと訂正 とおの議会だより49号において、11ページの「道の駅魅力アップ事業」の事業期間に誤りがありました。次のとおり訂正し、お詫びいたします。(訂正前) 3年間 (訂正後) 4年間